

歯周病のこと

ほとんどの成人がかかっている？

「歯の健康教室」は、スマートフォンでもご覧いただけます。



歯周病とは、歯肉などの歯周組織が歯垢（プラーク）に含まれている歯周病菌に感染し、歯肉（歯茎）が腫れたり、出血したり、最終的には歯が抜けてしまう、日本人が歯を失うもっとも大きな原因です。

原因

歯周病の原因となるのは「歯垢（プラーク・磨き残し）」に含まれる歯周病菌です。

症状

歯周病は、初期の段階では、症状がわかりにくく、自覚症状が出た時には進行していることが多いため、日頃から予防することが大切です。次のような注意すべき症状がありますので、ご自身でもチェックしてみてください。

- [1] 歯磨きの時に、歯肉から出血する
- [2] 歯肉が赤く腫（は）れている
- [3] 歯肉などから膿（うみ）が出る
- [4] 歯肉が瘦（や）せて歯が長く見えたり、歯と歯の隙間が広がって物が挟まりやすくなる
- [5] 歯がグラグラする

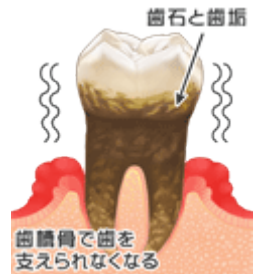
このように、歯周病には、さまざまな症状があり、ひとつだけでなく複数の症状を抱えていることが多いので、気になる症状があれば歯周病を疑いましょう。

治療

歯周病の原因は歯垢（プラーク）ですので、日頃の歯みがきなどで磨き残しをなくして、口の中を清潔に保つことが大切です。歯ブラシ・歯間ブラシ・デンタルフロスなどを適切に使用して、定期的に歯科医院で歯垢や歯石を除去したり、ご自身に合った磨き方の指導を受けることなどによって「歯垢を残さないこと」が、いちばんの歯周病予防で、歯周病治療の基本でもあります。



正常な状態



歯周病の状態

